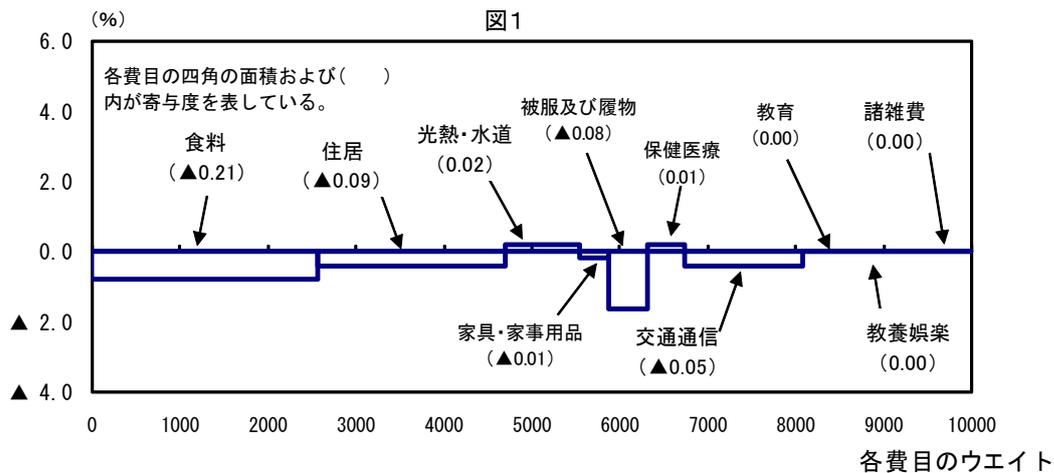


3 前月との比較

総合指数の前月比が 0.4% の下落となった内訳を寄与度でみると、食料、住居、被服及び履物の下落が主な要因となっている。(図 1)

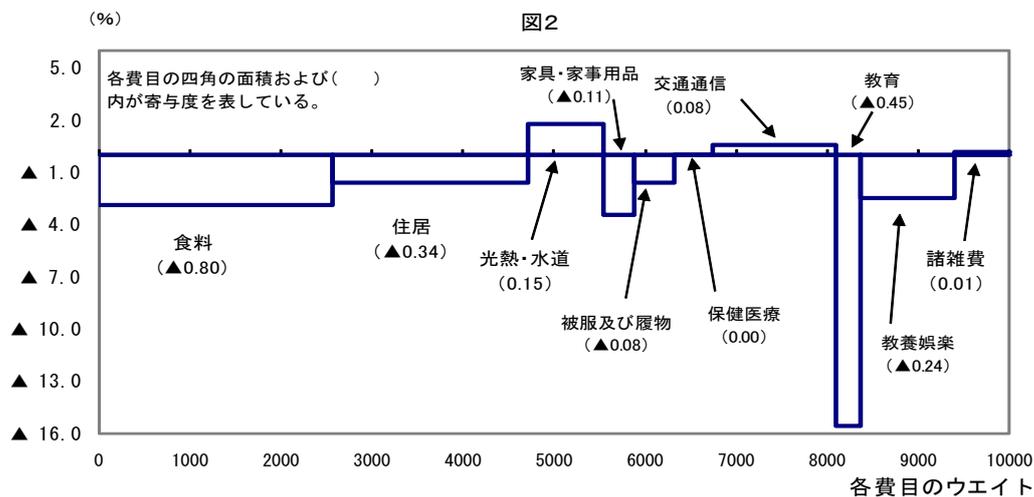


〔寄与度の高い費目〕

費目	主な内訳(寄与度)
食料	生鮮果物(▲0.38)
住居	家賃(▲0.08)
被服及び履物	シャツ・セーター類(▲0.08)
交通通信	自動車等関連費(▲0.06)

4 前年同月との比較

総合指数の前年同月比が 1.7% の下落となった内訳を寄与度でみると、食料、教育、教養娯楽の下落が主な要因となっている。(図 2)



〔寄与度の高い費目〕

費目	主な内訳(寄与度)
食料	生鮮魚介(▲0.23)、調理食品(▲0.32)、肉類(▲0.15)、菓子類(▲0.07)
教育	授業料等(▲0.45)
教養娯楽	教養娯楽用品(▲0.14)、教養娯楽用耐久財(▲0.10)
家具・家事用品	家庭用耐久財(▲0.09)、家事用消耗品(▲0.04)